

検査部

Clinical Laboratory

| | | |
|----------|-------|--------------------|
| 部長(併 教授) | 北島 勲 | Isao Kitajima |
| 副部長(助教) | 仁井見英樹 | Hideki Niimi |
| 医 員 | 原田 健右 | Kenu Harada |
| 臨床検査技師長 | 野手 良剛 | Ryogo Note |
| 副臨床検査技師長 | 桑原 卓美 | Takumi Kuwabara |
| 副臨床検査技師長 | 横田 綾 | Aya Yokota |
| 主任臨床検査技師 | 吉田 郁子 | Ikuko Yoshida |
| 主任臨床検査技師 | 柴 則子 | Noriko Shiba |
| 主任臨床検査技師 | 谷 みね子 | Mineko Tani |
| 主任臨床検査技師 | 川島 猛志 | Takeshi Kawashima |
| 主任臨床検査技師 | 坂本 純子 | Junko Sakamoto |
| 主任臨床検査技師 | 角田 美鈴 | Misuzu Kakuda |
| 臨床検査技師 | 細谷 孝子 | Takako Hosoya |
| 臨床検査技師 | 多賀由紀子 | Yukiko Taga |
| 臨床検査技師 | 成瀬 里恵 | Rie Naruse |
| 臨床検査技師 | 上野 智浩 | Tomohiro Ueno |
| 臨床検査技師 | 片沼 晶子 | Akiko Katanuma |
| 臨床検査技師 | 森田 未香 | Mika Morita |
| 臨床検査技師 | 塩崎 真弓 | Mayumi Shiozaki |
| 臨床検査技師 | 尾川 智美 | Tomomi Ogawa |
| 臨床検査技師 | 上野 由美 | Yumi Ueno |
| 臨床検査技師 | 滝脇 正貴 | Masaki Takiwaki |
| 臨床検査技師 | 山岸 奈々 | Nana Yamagishi |
| 臨床検査技師 | 田川 寛子 | Hiroko Tagawa |
| 臨床検査技師 | 関口 敬文 | Takafumi Sekiguchi |
| 臨床検査技師 | 川添 友紀 | Yuuki Kawazoe |
| 臨床検査技師 | 山下 峰 | Mine Yamashita |
| 臨床検査技師 | 大槻 晋也 | Shinya Otuki |
| 臨床検査技師 | 杉江 和茂 | Kazushige Sugie |

◆ 著 書

- 1) 北島 勲. 標準臨床検査医学. 第4版. 高木 康, 山田俊幸編. 東京: 医学書院; 2013. 重金属ならびに関連蛋白; p. 232-40.
- 2) 北島 勲. 新規抗凝固薬の選び方・使い方. 豊田一則編. 大阪: フジメディカル出版; 2013. 新規抗凝固薬のモニタリング; p. 88-99.
- 3) 北島 勲. 臨床検査データブック LAB DATA2013-2014. 黒川 清, 春日正雅, 北村 聖編. 東京: 医学書院; 2013. プロトロンビン時間 (PT), トロンボテスト (TT), ヘパプラスチンテスト (HPT), 活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT); p. 375-9.
- 4) 北島 勲. 臨床検査データブック LAB DATA2013-2014. 黒川 清, 春日正雅, 北村 聖編. 東京: 医学書院; 2013. フィブリノゲン, 可溶性フィブリンモノマー複合体 (FMC), フィブリン/フィブリノゲン分解産物 [FDP], D ダイマー; p. 375-87, 388-93, 394-9, 401-4, 404-12.
- 5) 北島 勲. 臨床検査データブック LAB DATA2013-2014. 黒川 清, 春日正雅, 北村 聖編. 東京: 医学書院; 2013. プロトロンビン, プロトロンビンフラグメント (PF1+2), 第V因子, 第VII因子, 第VIII因子, von Willebrand 因子, von Willenrand 因子マルチマー解析, VWF 切断酵素 (ADAMTS13), 第IX因子, 第X因子, 第X I 因子, 第X II 因子, 第X III 因子; p. 387-98.

- 6) 北島 勲. 臨床検査データブック LAB DATA2013-2014. 黒川 清, 春日正雅, 北村 聖編. 東京: 医学書院; 2013. 凝固因子インヒビター定性 (クロスミキシング試験), 第Ⅷ因子インヒビター, 第Ⅸ因子インヒビター, 組織因子 (組織トロンボプラスチン), 総組織因子経路インヒビター (総 TFPI). アンチトロンビン (AT), トロンビン・アンチトロンビン複合体 (TAT); p. 396-404.
- 7) 北島 勲. 臨床検査データブック LAB DATA2013-2014. 黒川 清, 春日正雅, 北村 聖編. 東京: 医学書院; 2013. トロンボモジュリン, プロテイン C, プロテイン S, 組織プラスミノゲンアクチベーター (t-PA), プラスミノゲンアクチベーターインヒビター1 (PAI-1), t-PA・PAI-1 複合体, プラスミノゲン, α 2-プラスミンインヒビター, プラスミン・ α 2-プラスミンインヒビター複合体 (PICテスト); p. 2013-4.

◆ 原 著

- 1) Harada K, Mikuni S, Beppu H, Niimi H, Abe S, Hano N, Yamagata K, Kinjo M, Kitajima I. A rapid and high-throughput quantitation assay of the nuclear factor κ B activity using fluorescence correlation spectroscopy in the setting of clinical laboratories. PLoS One. 2013 Oct;8:e75579.
- 2) Mimuro J, Takahashi H, Kitajima I, Tsuji H, Eguchi Y, Matsushita T, Kuroda T, Sakata Y. Impact of recombinant soluble thrombomodulin (thrombomodulin alfa) on disseminated intravascular coagulation. Thromb Res. 2013 May;131(5):436-43.
- 3) Madoiwa S, Kitajima I, Ohmori T, Sakata Y, Mimuro J. Distinct reactivity of the commercially available monoclonal antibodies of D-dimer and plasma FDP testing to the molecular variants of fibrin degradation products. Thromb Res. 2013 Oct;132(4):457-64.

◆ 総 説

- 1) 北島 勲. 【ワンランク上の小児の臨床検査－生理に基づく選び方・考え方－】小児の臨床検査の基礎知識 臨床検査総論. 小児科学レクチャー. 2013; 3(2): 281-8.
- 2) 北島 勲. 静脈血栓塞栓症 (VTE). 検査と技術. 2013; 41(9): 752-8.
- 3) 北島 勲. 新規経口トロンビン阻害薬における凝固検査の重要性と問題点. 兵庫県医師会医学雑誌. 2013; 56(1): 2-3.
- 4) 山下 峰, 北島 勲. ビタミン D の抗腫瘍効果に対するエビデンス. 臨床化学. 2013; 42(2): 356-8.
- 5) 仁井見英樹. メタゲノム解析が拓くマイクロバイオーーム検査の可能性. 臨床化学. 2013; 42(1): 83-4.
- 6) 仁井見英樹. Tm mapping 法: 検体採取後 3 時間以内での起因菌同定を可能とする新たな検査法. 臨床化学. 2013; 42(2): 124-30.
- 7) 仁井見英樹. 感染症迅速検査技術の Up To Date－核酸検査法の逆襲－. 臨床化学. 2013; 42(2): 104.

◆ 学会報告

- 1) Niimi H, Ueno T, Hayashi S, Mori M, Tabata H, Minami H, Saito S, Kitajima I. A New rapid, easy and cost-effective method that identifies unknown pathogenic microorganisms within 3 hours from sample collection. 20th European Congress of Clinical Chemistry and Laboratory Medicine; 2013 May 19-23; Milano. (Invited lecture)
- 2) Kitajima I, Hirano K, Tani M, Tanaka K. Novel haemostatic biomarkers in acute cardioembolic stroke. 20th European Congress of Clinical Chemistry and Laboratory Medicine; 2013 May 19-23; Milano.
- 3) Kitajima I, Hirano K, Tani M, Tanaka K. Novel haemostatic biomarkers in acute cardioembolic stroke. 2013 American Association for Clinical Chemistry Annual Meeting; 2013 Jul 28-August 1; Houston.
- 4) Matsushita T, Watanabe J, Goichi Honda, Mimuro J, Takahashi H, Tsuji H, Eguchi Y, Kitajima I, Sakata Y. Thrombomodulin Alfa Treatment For Disseminated Intravascular Coagulation In Acute Promyelocytic Leukemia: A Retrospective Analysis Of The Open-Label, Multicenter Study Cohort. 55th American Society of Hematology Annual Meeting and Exposition; 2013 Dec 10-14; New Orleans.
- 5) 北島 勲. 新規経口トロンビン阻害薬剤における凝固検査の重要性と問題点. 日本医師会生涯教育協力講座; 2013 Jan 26; 京都. (招待講演)
- 6) 北島 勲. 新規経口凝固薬と凝固・線溶検査. 日本医師会福井県支部生涯教育協力講座; 2013 Feb 17; 福井. (招待講演)
- 7) 北島 勲. 基礎の観点からトロンビン阻害薬の有用性を考える. 第 38 回日本脳卒中学会総会 STROKE2013; 2013 Mar 23; 東京. (招待講演)

- 8) 北島 勲. Novel clinical laboratory markers of blood coagulation and fibrinolysis. 第 38 回脳卒中学会総会血栓止血学会合同シンポジウム; 2013 Mar 23; 東京. (招待講演)
- 9) 北島 勲. 血栓止血学からみたトロンビン阻害薬の有用性. 心臓血管フォーラム 2013; 2013 Apr 18; 大阪. (招待講演)
- 10) 北島 勲. 心房細動と脳梗塞. 日本医師会生涯教育協力講座; 2013 May 11; 神戸. (招待講演)
- 11) 北島 勲. 新規経口抗凝固薬安全性チェックのための凝固検査薬探索. 第 35 回日本血栓止血学会学術集會会長要請共催シンポジウム; 2013 May 31; 山形. (招待講演)
- 12) 北島 勲. 凝固学の視点からトロンビン阻害薬の有用性を考える. 第 35 回日本血栓止血学会学術集會会長ランチョンセミナー; 2013 May 31; 山形. (招待講演)
- 13) 北島 勲. トロンビン阻害薬の特徴を理解する. 第 4 回 National Stroke Summit; 2013 Jun 29; 東京. (招待講演)
- 14) 北島 勲. 心房細動における凝固亢進とトロンビン阻害薬の有用性. 第 28 回犬山不整脈カンファレンス; 2013 Aug 24; 名古屋. (招待講演)
- 15) 北島 勲. 循環器疾患のバイオマーカー検査の進歩 凝固・線溶マーカー. 日本臨床検査自動化学会第 45 回大会; 2013 Oct 11; 横浜. (招待講演)
- 16) 北島 勲. 血栓・止血分子マーカーの最前. 第 60 回日本臨床検査医学会学術集會; 2013 Oct 31; 神戸. (招待講演)
- 17) 北島 勲. 心原性脳塞栓症の予防と最新治療・長野日本医師会生涯教育協力講座; 2013 Oct 13; 長野. (招待講演)
- 18) 仁井見英樹. eukaryote-made Taq DNA polymerase および Tm mapping 法による感染症迅速検査システムの構築. 第 22 回信大臨床検査セミナー; 2013 Sep 15; 松本. (招待講演)
- 19) 仁井見英樹. 一般細菌における遺伝子検査. 山梨県臨床衛生検査技師会微生物・遺伝子検査研究班合同研修会; 2013 Feb 15; 中央. (招待講演)
- 20) 野手良剛, 林 龍二, 三村泰彦, 北川洋子, 青木雅子, 山本善裕, 田代将人. 当院におけるアンチバイオグラムと薬剤耐性菌の分離状況. 第 28 回日本環境感染学会総会; 2013 Mar 2; 横浜.
- 21) 滝脇正貴, 山下 峰, 宇治義則, 供田文宏, 小池 勤, 井上 博, 北島 勲. 本態性高血圧症における血中脂質と血液粘性の関係. 第 52 回日本臨床検査医学会東海北陸支部総会・第 326 回日本臨床化学会東海北陸支部例会連合大会; 2013 Mar 10; 津.
- 22) 山下 峰, 滝脇正貴, 宇治義則, 供田文宏, 井上 博, 北島 勲. 本態性高血圧症患者における血清 25-ヒドロキシビタミン D3 濃度と Ca, P 代謝指標の関係. 第 52 回日本臨床検査医学会東海北陸支部総会・第 326 回日本臨床化学会東海北陸支部例会連合大会; 2013 Mar 10; 津.
- 23) 山下 峰, 滝脇正貴, 宇治義則, 北島 勲, 供田文宏, 井上 博. 本態性高血圧症患者における血清 25-OH ビタミン D3 濃度測定の評価. 第 24 回生物試料分析科学会年次学術集會; 2013 Mar 13; 博多.
- 24) 滝脇正貴, 山下 峰, 宇治義則, 供田文宏, 井上 博, 北島 勲. 本態性高血圧症における血中脂質と血液粘性. 第 24 回生物試料分析科学会年次学術集會; 2013 Mar 13; 博多.
- 25) 関口敬文, 滝脇正貴, 宇治義則, 田部井洋介, 浅野泰久, 北島 勲. 酵素法による血漿 Threonine 定量法の確立. 第 24 回生物試料分析科学会年次学術集會; 2013 Mar 13; 博多.
- 26) 塩崎真弓, 山岸奈々, 成瀬里恵, 吉田千晶, 宇治義則, 平井忠和, 市田落子, 井上 博, 芳村直樹, 北島 勲. 循環器内科外来の成人先天性心疾患における心エコー図所見の特徴. 第 77 回日本循環器学会学術集會; 2013 Mar 16; 横浜.
- 27) 川添友紀, 吉田 聡, 別府秀幸, 北島 勲. 肝がん細胞におけるトロンビンによる TF と PAI-1 発現と古典的 NF- κ B シグナル低反応性との関連. 第 35 回日本血栓止血学会学術集會; 2013 Jun 1; 山形.
- 28) 田川寛子, 仁井見英樹, 上野智浩, 北島 勲. 液相 Cell Counting 法, 迅速で簡便な薬剤感受性試験法の開発の試み. 第 24 回日本臨床化学東海・北陸支部総会/第 32 回日本臨床検査医学会東海・北陸支部例会; 2013 Jul 20; 浜松.
- 29) 上野智裕, 仁井見英樹, 森 正之, 多葉田誉, 南洋, 齋藤 滋, 北島 勲. eukaryote-made Taq polymerase を用いた迅速な子宮内感染症・相対的定量検出法の構築. 第 24 回日本臨床化学東海・北陸支部総会/第 32 回日本臨床検査医学会東海・北陸支部例会; 2013 Jul 20; 浜松.
- 30) 山岸奈々, 北島 勲. 骨形成因子 (BMP) 受容体変異とシグナル異常は上皮細胞腫瘍化に影響を与える. 第 53 回日本臨床化学会年次学術集會; 2013 Aug 30; 徳島.
- 31) 仁井見英樹, 上野智浩, 森 正之, 多葉田誉, 南洋, 北島 勲. Tm mapping 法: 検体採取 3 時間以内で不特定の起因菌を同定する迅速検査法. 第 53 回日本臨床化学会年次学術集會; 2013 Aug 31; 徳島.
- 32) 山岸奈々, 塩崎真弓, 成瀬理恵, 井上 博, 北島 勲. 心臓内腫瘍の検出における経胸心エコーの有用性. 38 回北

陸臨床病理集談会；2013 Sep14；金沢。

- 33) 上野智浩, 仁井見英樹, 森 正之, 多葉田誉, 南 洋, 齋藤 滋, 北島 勲. eukaryote-made Taq polymerase を用いた迅速な子宮内感染症・菌検出法の構築. 第 38 回北陸臨床病理集談会；2013 Sep 14；金沢.
- 34) 山下 峰, 滝脇正貴, 野手良剛, 宇治義則, 北島 勲. AQT90FLEX 免疫測定装置による CK-MB 蛋白量測定の基礎的検討. 日本臨床検査自動化学会第 45 回大会；2013 Oct 11；横浜.
- 35) 関口敬文, 滝脇正貴, 上野智浩, 宇治義則, 北島 勲. 全自動生化学分析装置による血漿 Threonin, Tryptophan, Glycine 分析法構築と臨床への応用. 日本臨床検査自動化学会第 45 回大会；2013 Oct 11；横浜.
- 36) 吉田 聡, 吉田淑子, 古市恵津子, 吉田加奈美, 岡部素典, 北島 勲. Image J を用画像解析の適応性. 日本解剖学会中部地区地方会；2013 Oct 5；山梨.
- 37) 仁井見英樹, 上野智浩, 森 正之, 多葉田誉, 南 洋, 齋藤 滋, 北島 勲. Tm mapping 法：患者検体採取後 3 時間以内での迅速起因菌同定法. 第 60 回日本臨床検査医学会学術集会；2013 Oct 31；神戸.
- 38) 上野智浩, 仁井見英樹, 森 正之, 多葉田誉, 南 洋, 齋藤 滋, 北島 勲. eukaryote-made Taq polymerase を用いた子宮内 感染症の相対的定量検出法. 第 60 回日本臨床検査医学会学術集会；2013 Oct 31；神戸.
- 39) 田川寛子, 仁井見英樹, 北島 勲. 液相 Cell Counting 法：迅速かつ簡便な薬剤感受性試験法開発の試み. 第 60 回日本臨床検査医学会学術集会；2013 Oct 31；神戸.
- 40) 滝脇正貴, 関口敬文, 宇治義則, 田部井陽介, 浅野泰久, 北島 勲. 酵素法による血漿 Threonine 定量法の確立. 第 60 回日本臨床検査医学会学術集会；2013 Oct 31；神戸.
- 41) 山下 峰, 滝脇正貴, 北島 勲, 供田文宏, 小池 勤, 井上 博, 宇治義則. 本態性高血圧症における交感神経・副腎髄質系と血中 FGF-23 との関係. 第 60 回日本臨床検査医学会学術集会；2013 Oct 31；神戸.

◆ その他

- 1) 欧州特許条約許可：Miimi H, Kitajima I. Method for identifying pathogenic microorganisms responsible for infection by extracting the DNA of a microorganism. 出願番号 (07714581.1) (PTC-TU4-33)
- 2) 本田孝行, 松尾収二, 正木 充, 原田健右, 高崎 匡, 中村文彦. 臨床で利用しやすい検査結果を提供しよう. 第 59 回学術集会 Reversed Clinicopathological Conference (R-CPC). 臨床病理. 2013；6(3)：271-82.
- 3) 松井祥子, 高倉一恵, 島木貴久子, 野口寿美, 佐野隆子, 酒井 渉, 北島 勲. 麻疹アウトブレイクその後. 学園の臨床研究 (富山大学保健管理センター紀要). 2013；12：1-4.
- 4) 酒井 渉, 松井祥子, 高倉一恵, 島木貴久子, 立瀬剛志, 吉永崇史, 水野 薫, 原澤さゆみ, 瀬尾友徳, 日下部高史, 島木貴久子, 佐野隆子, 四間丁千枝, 島田尚佳, 宮村健壮, 舟田 久, 廣川慎一郎, 宮脇利男, 北島 勲. 医薬キャンパスにおける学生支援の現状と課題－安全配慮義務との関連から－. 学園の臨床研究 (富山大学保健管理センター紀要). 2013；12：77-82.